

## 経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組事例 (平成25年度)

平成25年度の経営協議会において、学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組事例は下記のとおりである。

### 記

- 藝大は、学長のリーダーシップが発揮されているとおりの円滑な運営を行っているかと思う。特に学長権限の予算もあり、有効であり続けてもらいたい。  
(平成25年6月27日 第45回経営協議会)

#### (学長のガバナンス強化)

更なる学長のガバナンス機能を強化するため、学長補佐体制として新たに2名の副学長を置くとともに、部局長選考に関し、複数候補者のうちから学長のビジョンや大学の経営方針を共有して適切な役割を果たすことができる部局長を学長が直接選考する方法や外部有識者の登用など部局長選考に関する改革案を取りまとめた。

- 藝大を戦略的にグローバル化することが必要か考える。  
(平成25年6月27日 第45回経営協議会)
- 今、大学問題がクローズアップされて、「グローバル化」がキーワードとなっているが、藝大におけるグローバル化は、特に、若者同士が異文化相互の制作研究を自由闊達に行い、クリエイティブなものに手応えがあると良いと考える。  
(平成25年10月17日 第46回経営協議会)
- 国立大学の機能強化を踏まえつつ、藝大は唯一文化を担う直接的な責任をもつ役割があるので、学生たちのためにも更なる機能強化に向けて取り組んで欲しい。  
(平成26年1月23日 第47回経営協議会)

#### (大学改革プラン推進会議の設置及び改革プランの作成)

国立大学改革プランに基づき、本学における大学改革について、スピード感をもって積極的に推進するために役員会の下に「大学改革プラン推進会議」を設置し、本学の強みである「創造と発信」機能の一層のグローバル化やイノベーション化を図るため、主に教育研究組織や教員組織、年俸制導入を含めた人事・給与制度等の改革を中心に精力的に検討を行い、基本的な改革プランを取りまとめた。